

学校便り

プラハ日本人学校

TEL : 233 340 000

FAX : 233 322 424

Email : gakko@jpschool.cz

No.924 2018/10/10

VLTAVA

学校教育目標

「自ら学び共に学ぶ、豊かな心と国際性あふれる たくましい児童・生徒の育成」

目指す子ども像

かしこい子・やさしい子・たくましい子・世界で生きる子

新児童生徒会長・副会長決定

9月18日(火)3時間目に、小学校4年生以上対象の児童生徒会立会演説会、選挙が行われました。山田選挙管理委員長より、「選挙権が18歳以上になるなど、子どもの頃からの選挙に対しての正しい心構えが必要だ」という話がありました。その結果、厳かな雰囲気で行われた立会演説、投票が行われました。新しい児童生徒会役員に次のみなさんが選ばれました。

会長 奥田 さき さん(中学部2年)
副会長 阿部 美柳 さん(小学部6年)

能楽体験(中学部)

10月3日(水)能楽師 大倉流小鼓方 久田 舜一郎 氏(重要無形文化財総合保持者 いわゆる人間国宝)に来校いただきました。

14時20分～15時40分という短い時間でしたが、日本の古典芸能である能について解説していただき、小鼓をたたいて実演していただきました。

一部の生徒は、実際に小鼓をたたかせていただきました。単純に思えた音の奥深さに感動を覚えたようです。



また、「ヨーロッパは日本と異なり乾燥しているので鼓の音が初めは出にくい」とおっしゃっていました。



【感想】

※今日の能は、とてもエネルギッシュな演奏でした。一つ頭や二つ頭などのフレーズがあることも知りました。 ※小鼓を最初、生で聞いたとき、映像で聞くときと比べて何か違った。たたき方が違うだけでいろいろな音が出ることを初めて知った。 ※一つの楽器からたくさんの種類の音が鳴っていてすごいなあと思いました。太鼓の音と「ハッ」というかけ声が合っていたこともすごいなあと思いました。 ※久田さんの声もハキハキしていて響いていた。また、日本文化の演奏者に会ってみたい。 ※ヨーロッパなど海外

の楽器と日本の楽器を比べてみたいです。 ※予想以上の迫力だったのでびっくりしました。鳥肌が立つほどの演奏をきけて、本当によかったです。また、機会があったら実際に触ってみたいです。 ※見た感じは簡単に見えたけれど、中3や中2の人がやっているのを見たら難しいのかなあと思った。 ※あれほどまでの音を使い分けられることに驚きました。また、音をカタカナで表したりする事も、ヨーロッパの音楽を勉強してきた私には新鮮でした。

※今日は、日本にいても体験できない日本の文化に触れることができました。私は、能楽を初めて見ましたが、久田さんの演奏や表情、声を聞くと、能の雰囲気や日本の伝統的なものを感じることができました。また、実際に小鼓をたたいてみると難しく、久田さんのすごさを感じることが出来ました。貴重な体験をすることができ、とても学んだ1時間となりました。

した。

※今日は、お忙しい中僕たちに演奏をきかせていただき、ありがとうございます。僕は、小鼓を見た事はあるのですが、実際にたたいたことはありませんでした。実際にやってみると、とても難しくあまり良い音がでませんでした。プラハにいと、日本の文化をあまり体験できないので、とても良い体験になりました。本当にありがとうございます。 ※今日、僕は初めて小鼓を打ちました。小鼓は、思っていたよりも音が出しにくくて苦戦しましたが、だんだんいい音が出る回数が増えて、楽しい気持ちになりました。僕はこんなにも音を出すのに苦労した小鼓を普通に使えている久田さんを見て、とても驚きました。しかし、能楽を知る人や伝える人が減ってきているというのは、とても残念です。僕は、今回の体験を周りの人に伝えて能楽の文化を守る手伝いができればいいと感じました。 ※今日は、初めて、小つづみを聞いて、まず、いろいろとすごいなと思いました。小つづみをたたいても、場所ややり方の違いで音が変わってくることや、実際、私もたたいてみて、すごく難しいのに、言葉と一緒にするのはすごいなと思いました。また、能は武士のような力強さがあるという所は、本当にそうだなと思いました。時代が変わっても、日本の伝統を同じように受けついでいくというのは、本当にすごいことで、感動しました。 ※今日の演奏や体験をしてみて、日本じゃないからこそできるものもあるけれど、ここにいるから、生で見られる日本の文化もあることを知りました。日本にいたら、まずありえないと思うものを体験できて、とてもいい機会だったと思います。また、日常であまり触れない日本の芸能をくわしく知れたこともとてもよかったです。 ※楽器によって、ひもの締めるきつさが違ったり、たたき方も違ったりと、とても興味がわきました。今まで関わる機会がなかったけど、今回お話を聞いて、能を見に行ってみたいと思いました。体験をさせてもらったとき、手を補助してくださると音が出るのに、支えがなくなると音が出なくなってしまって、不思議に思った。久田さんや囃子方の人たちのすごさが改めてわかった。 ※能楽鑑賞をして、テレビなどで見るときよりも、能のことがよく分かり、少し自分のイメージと変わった。自分のイメージではとても静かな所で行うものだったが、後ろの楽器の演奏がとても力強く演奏をしていて、能楽は力強いものだということがわかった。 ※能について久田舜一郎さんから講演していただき、700年以上の歴史があり、今日まで受け継がれてきたということに驚いた。また、小鼓の演奏をさせていただき、手に合わせてひもを動かすことの大変さがわかった。小鼓はあまり乾燥していない環境が必要だと分かり、環境についても良い勉強になった。 ※これまでに能を鑑賞していて小鼓や大鼓を演奏している囃子方の人を注目してみたことはありませんでした。しかし、今日の講演会を聞いて、久田さんのような多くの人が能の舞台をつくり上げているからこそ、シテをはじめとする人たちの表情や舞に深みが出て、よりおもしろい舞台になっているんだなということがわかりました。日本に帰ったら、生で能を見てみたいです。これまでと少し違った見方ができる気がします。 ※実際に叩かせていただき、音を鳴らすことが難しいということに驚いた。日本人なのに、知らない日本文化にふれられて、良い経験になった。日本文化を約1億2600万人の中で継承していかなければいけない方に会えたのも光栄だ。日本文化の継承以外にも、しないといけないものもあるから、僕も何かそういうことをしていきたい。